

請願第 30号

平成23年11月30日

川崎市議会議長 大島 明 様

高津区

子どもを放射能から守る会@川崎

認可・無認可に関わらず保育所への対策を平等にするための請願

請願の要旨

無認可保育園に対しても、認可保育園と同等の対策が取られるようにお願いいたします。

請願の理由

現在、市では、保育園、幼稚園、学校、一部の公園などで空間放射線量率の測定などを行っておりますが、保育園への対応は認可保育園のみであり、無認可保育園は市による放射線量率測定などの放射線対策の対象外となっております。

保育所定員の都合上、認可保育園に入園させたくても入園させることができず、それゆえ無認可保育園へ通わせている保護者が多いのが川崎市の現状です。

子どもたちの健康や安全について考えるとき、保育所の認可、無認可の別によって、対策や待遇に差がでることはあってはならないことだと考えます。同じ年齢の幼児であるならば、幼稚園へ通う子どもも、認可保育園に通う子どもも、無認可保育園に通う子どもも、健康や安全については等しく守っていただきたいです。

無認可保育園に通う子どもを持つ保護者たちが感じている保育園への対応についての不平等感を解消し、無認可保育園に通う子どもたちも等しく放射能汚染から守られるようにするために、無認可保育園の職員に対しても放射能知識

の教育を行っていただきたいですし、放射能対策についての指導もしていただきたいです。

また、無認可保育園では園庭のない施設が多く、子どもたちを近隣の公園などに連れ出して外遊びをさせることが多いようですが、市が放射線量率の測定を行っている公園は一部の公園のみにとどまっているため、無認可保育園の子どもたちの遊ぶ環境が安全なのかどうかわかりません。

子どもたちの安全への対応が等しくなるように、無認可保育園についても、認可保育園同様に施設長が希望する箇所の放射線量率の測定や、外遊びに出かける公園の放射線量率測定をお願いしたいです。

紹介議員

吉 沢 章 子
石 田 和 子
松 川 正二郎
猪 股 美 恵